

実践記録

学校/学年	中学校 / 2 年	
教科等：単元名	特別活動：個人情報とセキュリティ	
キーワード	個人情報、プライバシー、架空請求、	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☒ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	e 情報を正しく安全に活用するための知識や技術を身につける
	中目標項目番号 中目標項目内容	e 4 - 2 自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる。
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	個人情報の内容について理解し、その扱い方考え、対処法を自分なりに考えることができる。	
参考	参照 Web ページ	NPO 情報セキュリティフォーラム 被害・事件事例編 を参照
	U R L	http://www.isef.or.jp/rd/jirei_web/top.html#top

○ 展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	1 個人情報とは何か考える。	・「個人情報」にあたるものは、どのようなものか考え、発表させる。 氏名、性別、生年月日、住所、電話番号、家族構成、写真、メールアドレス など。
展 開	2 個人情報の定義を知る。 3 個人情報、悪意ある使われ方をされた場合の被害・事件について知る。 4 個人情報の使われ方について考える。	・個人情報は個人を識別することができる情報であることを教える。 ・プロフ、架空請求 ・グーグルマップで住所が掲載された例を紹介し、どのようなことに利用される可能性があるか考えさせる。
お わ り	5 個人情報の扱い方について考え、今後、注意すべき点を理解する。	・個人情報が悪意ある使われ方をされないために、どのようなことに注意すればよいか考えさせる。

○ 授業の成果

- ・ほとんどの生徒が個人情報の内容を理解できたようだ。
- ・Web ページに自分の写真、名前、住所などを掲載することや、電話で聞かれた場合、個人情報が悪用される可能性があることを理解できたようだ。

○ 指導のポイント・留意点

- ・個人情報が流出した場合、どのような使い方をされる可能性があるか深く考えさせ、個人情報を知らない人に教えてしまうことの危険性について考えさせる。